いまどきの家族模様



# いまどきの家族模様

# 香山リカさん選書 「多様な家族の関係」

2016年2月

	1 7 7 5 C 7 C C C C C C C C C C C C C C C		2010-273		
	書名	著·編者名	出版社	出版年	分類
1	あっ、こう言えばいいのか! ゴードン博士の親になるための16の方法	瀬川文子	合同出版	2013	B32⊐
2	同性婚 私たち弁護士夫夫です	南和行	祥伝社	2015	C11F
3	レズビアン的結婚生活	東小雪·増原裕子	イースト・プレス	2013	C11レ
4	百合のリアル	牧村朝子	星海社	2013	C11ユ
5	「家族」をつくる 養育里親という生き方	村田和木	中央公論新社	2005	A382カ
6	草原の椅子 上・下	宮本輝	新潮社	2008	111
7	おひとりさまの老後	上野千鶴子	法研	2007	B16才
8	「家族」難民 生涯未婚率25%社会の衝撃	山田昌弘	朝日新聞出版	2014	В321カ
9	オトナ婚です、わたしたち 十人十色のつがい方	大塚玲子	太郎次郎社エディタス	2013	B17才
10	問いからはじめる家族社会学 多様化する家族の包摂に向けて	岩間暁子 他	有斐閣	2015	B321ト
11	心病む母が遺してくれたもの 精神科医の回復への道のり	夏苅郁子	日本評論社	2012	В34⊐
12	わが家の母はビョーキです	中村ユキ	サンマーク出版	2008	C3237
13	家の中のホームレス	月乃光司	新潟日報事業社	2004	A35イ
14	家族という病	下重暁子	幻冬舎	2015	В32カ
15	砂漠のわが家	美奈子アルケトビ	幻冬舎	2014	D2112サ
16	私の夫はマサイ戦士	永松真紀	新潮社	2006	B17ワ
17	僕の親になってくれる? 脳性まひ夫婦の養子縁組み・子育て	デニース・シアー・ジェ イコブソン	現代書館	2002	A3531ボ

## 選者プロフィール

#### 香山 リカ (かやま りか)



精神科医・立教大学現代心理学部教授

1960年北海道生まれ。東京医科大学卒業。豊富な臨床経験を活かして、現代人の心の問題を中心にさまざまなメディアで発言を続けている。専門は精神病理学。

NHKラジオ第一「香山リカのココロの美容液」(金曜・夜9: 30より)でパーソナリティをつとめる。

近著に「半知性主義でいこう」(朝日新書)、「ヒューマンライツ: 人権をめぐる旅へ」(ころから)、「がちナショナリズム」(筑摩書房)、「うつになる職場ならない職場」(にんげん出版)、「マインドフルネス最前線」(サンガ)、「執着 生きづらさの正体」(集英社クリエイティブ)など、著書多数。

## 香山リカさんからの推薦図書メッセージ

両親がいて実子がいて強い絆で結ばれている。そんな「理想の家族」にとらわれすぎて息苦しくなっている人が今日も診察室にやって来ます。それよりは、定型にとらわれずに自由に家族を作ろうよ!…でも心配、いろいろな壁がありそう、と悩んだときに役に立ちそうな本を中心に選んでみました。また、多様な家族を実際に作らなくても、「家族は心身ともに健康なメンバーが愛しあう人間関係」という幻想を捨てるだけでラクになることも少なくありません。そういう観点から、「心の多様性」を手に入れるための本、さらに「メンバーひとりでも家族」ということで、"おひとりさま"の本もチョイスしました。

#### 1、あっ、こう言えばいいのか!ゴードン博士の親になるための16の方法 瀬川文子 著

(合同出版) 2013年



血のつながりがあるにせよ、ないにせよ、夫婦、親子が信頼し合える関係を築くためには意識的に 家族を構築するカ「家族力」が必要な時代です。「家族力」を身につける鍵はずばり、家族一人ひと りのコミュニケーション能力。アメリカの心理学者トマス・ゴードン博士による、「こんなときはこう言え ばいい」がわかる実践的プログラムです。

#### 2、同性婚 私たち弁護士夫夫です

南和行 著

(祥伝社) 2015年



海外では同性婚を法律で認めている国が多数ありますが、日本ではまだ認められていません。同性 愛者である著者が、自分自身が感じてきたこと、弁護士として関わってきた同性愛者の葛藤や困難、 そして法律が家族や婚姻をどのように考えているのかを語ります。自分らしく生きたいすべての人に 贈ります。

#### 3、レズビアン的結婚生活

東小雪・増原裕子 著

(イースト・プレス) 2013年



2013年、元宝塚歌劇団の東小雪さんとパートナーの増原裕子さんは東京ディズニーリゾート初の同性結婚式を挙げました。そんな2人の軌跡を、ユーモアを交えて描くコミックエッセイです。LGBT (レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー)は特別な人たちではなく、あなたのごく身近なところにいる存在です。

4、百合のリアル 牧村朝子 著

(星海社) 2013年



タレント、レズビアンライフサポーターとして活動し、パリで国際同性婚をした著者が語る「女の子同士」のリアル。「女の子同士はどこで出会うの」「家族へのカミングアウトは?」「同性同士の結婚は可能なの?」本書は4人の若者と1人の先生との対話形式で進みます。マンガやQ&Aを駆使し、多様な愛のあり方をわかりやすく説明しています。

#### 養育里親という生き方

(中央公論新社) 2005年



里親とは生みの親が育てない子どもを預かり、"社会的な親"として育てる人のことです。暴力やネグレクト(養育放棄)などの児童虐待の急激な増加で、「里親制度」が見直されていると著者は言います。心に深い傷を負った子どもたちと接する里親の奮闘の日々を23組の家族のルポで伝えます。親とは、家族とは何かを考えさせる本です。

#### 6、草原の椅子 上・下

宮本輝 著

(新潮社) 2008年



離婚して娘と暮らす50歳の会社員、遠間憲太郎は、母親から虐待を受け心身共に未発達の幼児・圭輔を預かることになります。親友・重蔵、思いを寄せる女性・貴志子とともに4人は生き方を模索すべくタクラマカン、フンザへと旅します。人生の困難、生への尊厳、そして希望と再生の大いなる物語です。

#### 7、おひとりさまの老後

上野千鶴子 著

(法研) 2007年



少子高齢社会の今、女性にとって"家族する"期間は短縮しています。夫がいても平均寿命からすれば先に逝き、ひとりかふたりの子どももいつかは家を出ていく・・・。女性の生き方として"ひとりで暮らす"ためのノウハウを準備しておいてもよいのではないでしょうか。ひとりで生きる智恵を身につけ、老後シングルライフを楽しむための本です。

#### 8、「家族」難民

山田昌弘 著

#### 生涯未婚率25%社会の衝撃

(朝日新聞出版) 2014年



家族難民とは家族によるサポートがない人たちのことです。15年後、20万人が孤独死する?「パラサイト・シングル」「格差社会」「婚活」などの言葉で社会の動向を先取りしてきた社会学者である著者が、未婚化・単身化が進む日本社会に警鐘を鳴らします。パラサイト・シングルの将来を描く、家族を中心として見たシングル論です。

#### 9、オトナ婚です、わたしたち

大塚玲子 著

十人十色のつがい方

(太郎次郎社エディタス) 2013年



半同居婚、別居婚、おめでた事実婚、子連れ初婚、女×女婚、役割逆転婚、浮気容認婚、じゃんけん妻氏婚・・・オトナ婚(形にとらわれない結婚)をしている人たちに話を聞きました。「結婚とはこういうもの」という思い込みに縛られずに、自分にあった結婚の形を見つけるためのヒントがもらえる本です。

#### 10、問いからはじめる家族社会学

岩間暁子·大和礼子·田間泰子 著

多様化する家族の包摂に向けて

(有斐閣) 2015年



「家族」のあゆみと現状を理解したうえで、今後の「家族」と「家族」を取り囲む社会や制度のあり方について1人ひとりが考えるための手がかりを示します。時代ごと、国・地域ごとの比較データとジェンダーや階層の視点から、「家族」にせまる家族社会学の入門テキストです。「家族」をめぐる新たな動きや、法制度についても触れています。

#### 11、心病む母が遺してくれたもの

夏苅郁子 著

精神科医の回復への道のり

(日本評論社) 2012年



精神を病んだ人と暮らす家族の思いと、病と闘いながらも誇り高く生き抜いた一人の女性の物語です。そして、家族として過酷な状況を歩んできた、精神科医でもある著者自身の回復の物語でもあります。「病気の母の子ども」としての感情だけで考えていたことを「母自身の人生」という観点から考えることで恨みや葛藤から解放されることもあります。周りの人に助けられながらの著者の回復への心の軌跡が感動を呼びます。

## 12、わが家の母はビョーキです

中村ユキ 著

(サンマーク出版) 2008年



「母が精神科に通い始めたとき、私はまだ4歳だった。」一人生のほとんどを「家族」という立場で「統合失調症」と歩んできた著者が描いたコミックエッセイです。100人に1人の割合で発症するという統合失調症は適切な治療と薬、周囲の援助で回復できるといいます。看病される母と看病する家族の心のぶつかり合い、通じ合いを描きました。

#### 13、家の中のホームレス

月乃光司 著

神様、僕を引きこもりにしてくれたことを感謝します

(新潟日報事業社) 2004年



著者は、アルコール依存症・引きこもりを経て、心身障がい者のパフォーマンス集団「こわれ者の祭典」代表として活動している方です。対人恐怖症・引きこもり・アルコール依存症・自殺未遂などの体験と生きることの大切さを語るエッセイと詩、「百人人がいたら百人の人生が全部正しい人生だ」-短編小説『家の中のホームレス』が収録されています。

#### 14、家族という病

下重暁子 著

(幻冬舎) 2015年



「もっとも近い存在である家族とは、人間にとって、自分にとって何なのか」一私たちは家族を選んで生まれてくることはできません。家族団らんの名の下、お互いがよく知ったふりをし、愛し合っていると思い込む…。家族団らんという幻想ではなく、一人ひとりの個人をとり戻すことが本当の家族を知る近道ではないかと著者は言います。

#### 15、砂漠のわが家

美奈子アルケトビ 著

(幻冬舎) 2014年



ガゼル、ラクダ、イヌ、ハト、ウマ、ネコ、ウサギ、ウシそして夫、全部うちの家族です。アラブ首長 国連邦で国際結婚し、砂漠の家で10年の間、「来るものは拒まず」で11種類200匹の動物に囲 まれて生活している著者。広い砂漠を背景に愛すべき家族たちの素顔を写真とエッセイで紹介し ます。

#### 16、私の夫はマサイ戦士

永松真紀 著

(新潮社) 2006年



日本から丸一日かかる赤道直下のケニア共和国。著者は、ケニアの中でも伝統的な生活を営むマサイ戦士の第二夫人に迎えられ、首都ナイロビと夫の住む小さな村を行き来しながら、世界中を駆け回る添乗員の仕事を続けています。結納金は牛4頭、一夫多妻制の意味、家は妻が建てる・・・戸惑い、悩みながら築いていった幸せと家族の話です。

#### 17、僕の親になってくれる?

デニース・シアー・ジェイコブソン 著 (現代書館) 2002年

#### 脳性まひ夫婦の養子縁組み・子育て



サンフランシスコ湾のオークランド周辺には世界で最初に設立された自立生活センターがあるため 多くの障がい者が住んでいます。そこに住む、脳性まひで車いす生活をする夫婦は、脳性まひの可 能性のある赤ちゃんを養子にし、育てることを決意します。障がいへの偏見、養子縁組・子育てをめ ぐる不安や喜びを経験しながら絆を深めていく家族の物語です。 おすすめ本フェア推薦本は、貸し出しできます。ご利用方法は次のとおりです。

## 情報ライブラリ利用案内

男女共同参画センターの情報ライブラリは、横浜市内にあるフォーラム(男女共同参画センター横浜)、フォーラム南太田(男女共同参画センター横浜南)、アートフォーラムあざみ野(男女共同参画センター横浜北)の3館で資料の相互貸借サービスを行っています。3館の資料はどの館からも取り寄せて借りることができます。返却も3館すべて利用できます。

\* ライブラリカードのお申し込み

カードを作れる人

個人カード 小学生以上で横浜市に住んでいるか、通勤・通学している人

|団体カード| 担当者(直接借りにくる人)が横浜市に住んでいるか、通勤・通学しているグループ、団体

\*貸出•返却

<u>貸出</u> 本、雑誌、ポスター ひとり10冊(枚)まで、2週間借りられます。 ビデオ フォーラムのみ、館内で視聴できます。

団体カードをお持ちの方なら、館外貸出可のビデオを3本まで、1週間借りられます。

返却 カウンターにお返しください。閉館時は、本と雑誌のみ、ブックポスト(フォーラム)に返すことができます。

## ] テーマ別セット貸出について

おすすめ本フェアでご好評いただいた展示資料(選書リストを含む)を、すべてセットにして貸し出します。公共施設や図書館、学校、病院での展示に、またグループでの勉強会にもぜひ、資料セットをご利用ください。

貸出内容 展示するスペースにあわせて、セット貸出できます。

貸出期間 2ヶ月

貸出料金 無料(送料は、ご負担願います。)

ご希望があれば、展示のアドバイスも承ります。 お気軽にご相談ください。

詳細はお問い合わせください。 男女共同参画センター横浜 情報ライブラリ La 045-862-5056







